資料1

新たな難治性疾患対策の在り方の検討に関する論点メモ

【喫緊の課題】

1　特定疾患治療研究事業について

○　安定的な財源確保についてどのように考えるのか。

【参考１】
○特定疾患治療研究事業（医療費助成）の予算の推移

平成２２年度		平成２３年度要求
２７５億円	⇨	２７５億円

2　高額療養費制度について

○　見直しにあたっては、医療保険財政に影響があることから、患者や保険者、医療関係者が入った社会保障審議会医療保険部会において、７月１４日に議論を開始。

【参考２】＜改善要望として示した主な項目＞
（平成２２年７月１４日　医療保険部会資料より）
①　７０歳未満の「一般所得」の者のうち所得が低い者の自己負担限度額の引き下げ
②　外来における高額療養費の現物給付化
③　高額長期疾病（月自己負担１万円）の追加　　等

○　９月８日及び１０月２７日に、機械的な試算を提示したところであり、年末に向けて検討を進めているところ。

3　難治性疾患克服研究事業について

○ 今後の難治性疾患克服研究事業についてどのように考えるのか。

【参考３】
○難治性疾患克服研究事業の予算の推移

平成２２年度		平成２３年度要求
１００億円	⇨	７０億円（継続分）
		４０億円（新規分：健康長寿のためのライフ・イノベーションプロジェクト）

【今後の課題】

４　新たな難治性疾患対策の検討について

○　医療費助成の在り方、研究事業の在り方など難病対策の様々な課題を解決するため、今後の難治性疾患対策を検討するに当たり、原理原則・あるべき姿についてどのように考えるのか。

５　その他